

## お わ り に

「豊かな心と生活をめざして」のテーマのもとで小学部 中学部 高等部に別れての研究が2年目を迎えました。この“豊かさ”を“人や自然や社会とのかかわり合いの中でその子らしくのびのびと生きること”と捉え 各々が「かかわり合い」と「その子らしさ」にスポットをあて 昨年の反省と課題にもとづいて実践的研究をすすめてきました。

小学部では「部朝の会」を通して子どもの豊かさを育てる研究に取り組みました。昨年は「部朝の会」の活動のねらいの1つ「季節とのかかわり 自然のもの ほんものとの出会いの中に豊かさを感じること」から 活動や内容を考えてみました。今年は さらに学級集団の中では学べない人間関係を学ぶ所に重きをおいて 4つの縦割り集団を構成し その中でのかかわりを育てるという視点から「部朝の会」を見つめなおし その内容と指導のあり方を探りました。その結果、子ども同士のかかわり合いが「部朝の会」の中だけでなく 広く学校生活の他の場面でも見られるようになってきました。

中学部では 昨年に引き続き「散歩」を取り上げテーマにアプローチしました。昨年は散歩のもつ良さと意義を確認し 学年ごとのねらい(目標)をまとめて見ました。今年はさらにこれまでの実践を整理し 活動内容表を作成してみました。カリキュラム化といってもまだまだといった感は否めません。改めて「散歩」が生徒にとって意義あることを再確認しています。友だち同士のふれあい 自然や社会との出会い(かかわり)さらにコースの決定や周囲への働きかけなど 主体性や自律につながるものごとが多いことを実感しています。

高等部では卒業後の生活にいきづくことをめざした学習活動として MTをとりあげ その内容の見直しをはかりながらテーマに迫ることになりました。つまり昨年の挑戦学習に加え ほんもの学習やレクリエーション学習を併せて考えることによって 豊かな心と生活をめざし、今日的な課題(学校5日制、余暇時間の利用)にも応えることになると考えました。彼ら一人一人が楽しみや生きがいを持てるために 個人レベルであるいはクラス集団で、高等部みんなと いろいろなかたちの中での体験の積み重ねがテーマを実現していくものと考え実践してきました。

以上、本年の「豊かな心と生活をめざして」のテーマで 各部の取り組みを概括しました。いずれも他(人、物、自然)とのかかわりを大切にし、その子らしさ(個性化、自己決定や自己実現など)を大事にしながら、方法と内容を考え実践してきました。このテーマは、生涯学習のめあてともいえるものです。したがって学校教育だけでとらえきれものではありません。とはいえ、卒業生の生活が大部分は学校生活の中で得た経験がもとになっているということを聞くにつけ、家庭との連携を密にしながら 一人一人の生活の幅が広がるように、生活が豊かなものとなるように実践を重ねていきたいと思えます。子どもたちと子どもたちを取り巻く指導者集団との生活こそが卒業後の子どもたちの生活の財産ともいえるのです。

(浦田 東 作)